

別記様式(第5条関係)

令和7年度第3回東海村高齢者福祉計画推進委員会 議事録

1 開催日時	令和7年12月17日 水曜日 午後1時30分から午後3時00分まで
2 場所	東海村役場 5階 原子力視察研修室
3 出席者	【委員】 宮崎委員長, 岡村副委員長, 土屋委員, 安田委員, 丸山委員, 矢代委員, 今橋委員, 山崎(香)委員, 山崎(松)委員, 砂押委員, 阿久津委員, 内藤委員, 立川委員, 菊本委員, 杉山委員 【事務局】 (地域福祉課) 古川課長, 木梨課長補佐, ヴァキリ係長, 青木主事 (保険課) 山口課長, 大内課長補佐, 北崎係長, 野内主事 (総合相談支援課) 千葉課長, 川上課長補佐
4 欠席者	松本委員, 鹿志村委員, 清水委員, 舟木委員
5 公開又は非公開の別	公開
6 非公開の理由	
7 議題	(1) 地域包括ケアシステム推進のためのワークショップ 「村にこんなのがあったらいい介護サービス」 (2) その他
8 配布資料	資料1: 令和7年第3回高齢者福祉計画推進委員会グループワークについて 令和7年度第2回東海村高齢者福祉計画推移委員会 議事録

9 発言内容	<p>【次 第】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 地域福祉課長挨拶 3 委員長挨拶 4 新任委員紹介 5 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域包括ケアシステム推進のためのワークショップ …資料1 テーマ：村にこんなあったらいい介護サービス (2) その他 <p>【議 題】</p> <p>(1) 地域包括ケアシステム推進のためのワークショップ・・・資料1</p> <p>○資料1に基づき，ワークショップテーマを事務局から説明</p> <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会を迎え，今後は更なる高齢者増の見込 ・将来的に更なるケアマネの負担増や訪問事業所の廃業の増，全国的な市町村の介護給付費の負担増といった課題が想定される ・「地域包括ケアシステム」の重要性が増し，深化が求められている ・村においても，高齢者増，要介護認定者増が推計され，居宅介護予防サービスの給付も増大が想定される ・今後，介護予防に資する取組の必要性が益々高まる（介護予防をすることで，個々の重度化予防や介護給付費の抑制等の期待ができる） ・国の示す方向性は，介護保険の給付型から，地域の多様な資源を活用した事業（地域支援事業）の実施 ・村としては，高齢者が自分らしく，住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる介護予防を兼ねた事業等をつくり出していく必要がある ・今回は，委員の皆様，村の高齢者に魅力的なサービスや高齢者の集える場（居場所）等について，アイデアを出していただきたい また，その活動ができる場所（例：絆や図書館等）もあわせて考えていただきたい <p>【グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ：村にこんなあったらいい介護サービス ・ 目 的：高齢者が多様なサービスや活動を選択できるよう支援するため，村にどのようなプログラムがあれば参加したいか意見を聴取する。また，一つの視点として，男性の参加促進を踏まえて検討する。 <p>【グループワークの進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワーク① あったらいいなと思える「介護サービス」を考える（25分） ・ ワーク② ワーク①の「介護サービス」の活動場所を考える（20分） ・ 各グループ発表 ・ 委員長コメント <p>○各グループでの意見（要旨） ※詳細については別紙入力シート参照</p> <p>【Aグループ】</p> <p>(ワーク①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人で行ける喋り場や一人で音楽鑑賞ができるようなカフェを作る。 ・ 自分の得意なことを教えられるような場を作る。
--------	---

(ワーク②)

- ・ 生活圏で歩いていける範囲で活動できる場所
例) スーパーやコンビニ, ホームセンター
- ・ 特に男性の高齢者が集う図書館等の活用
(逆にこちらから出向いていく等)

【Bグループ】

(ワーク①)

- ・ デイサービスのように見守りもセットになったサービスで遊び心のある活動を実施する
- ・ お買い物ツアー (買い物をするだけでなく, 参加者でご飯を買って食べたり, 交流もする) を企画する
- ・ 既にある活動も大事にして, その活動が発展するよう支援する
例) 既存のウォーキングメニューに買い物メニューを加える等
- ・ 男性向けの健康麻雀メニューを推進し, 年に数回交流会等を実施する
- ・ 施設に行った人やその家族も一緒に楽しめるようなプログラムを企画する
- ・ 2040年に介護世代となる50代が介護予防につながるボランティアや趣味活動等を今から始める

(ワーク②)

- ・ コミセンや集会所等の身近な場所

【Cグループ】

(ワーク①)

- ・ 高齢者が散歩できるコースを整備する
例) グルービー縦の木公園の散歩コース。階段を降りなければ散歩コースへ行けないので, 外周を散歩コースにし, ベンチを設置して休める環境も整備しつつ, 遊んでいる子供達の見守りもできる三世代交流の場所を作る
- ・ 常会単位の見守り活動で近所の方への声掛け活動 (既存の活動)。定期的に近所を5人1グループに分け2人1組で活動する
- ・ シルバー人材センターの内職事業 (既存活動)
自宅ではなく, なごみで活動するので, 集まって話をしながら作業することで引きこもり予防につなげる
- ・ 趣味活動として, 麻雀やそば打ちを教えてくれる人が講座を開いて, 地域の好きな場所で活動する
- ・ 男性の引きこもりがちな人には, お酒が好きな人がいる。その方向けに好きな時間に自由に行けるお酒を楽しめる場 (介護知識のあるスタッフ在中) を提供する
- ・ 男性が集まりやすいよう男性向けの介護予防講座を実施する

(ワーク②)

- ・ 空き家や介護事業所の空きスペース (資料に記載されたもの以外)

○委員長コメント

各グループで色々な意見がでた。男性の参加に着目し, 「男性は一人で行動することが多いので, 無理に参加させるのではなく一人でも参加できるサービスを提供するのはどうか」, 「日常的に行く場所でサービスを提供するのはどうか」, 「既にあるサービスにプラスアルファしてはどうか」, 「ウォーキングで村の名所を巡り, 送迎もあれば参加しやすいのではないかな」等様々な意見が聞け

	<p>た。また、「ホビー的なもの、手を動かせるものは好きな方が多いので、そういったサービスを提供するのもいいのではないか」、「まだ自分で動ける方が対象なので、サービスを提供する側で活動してもらうのもいいのではないか」等、サービスを提供する側だけでは考えが出ないような意見もたくさん出ていたので、今日出た意見を参考に、今後のサービス提供に繋げて行ってほしい。</p> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回委員会について 2月下旬から3月開催予定。詳細については決まり次第連絡する。
10 結 果	○介護予防のためのサービスについて、貴重な意見をいただいたので、今後のサービス内容を検討する上での材料とする。
11 会議録内容確認	委員長 宮崎 勝

(注) この様式により難しいものにあつては、これに準じて適宜調整し、作成すること。